

令和4年度 福井市岡保小学校スクールプラン

学校教育目標

自ら学び、共に生きる岡保の子

<目指す児童像>

思いやりのある子
たくましい子
よく考える子

<目指す教師像>

学び合う教職員
協働する教職員

研究主題

つながり合って学ぶ子どもの育成

～自分の考えをもち、伝え、行動できる子～

<福井市学校教育目標>

郷土福井に誇りを持ち、
たくましく生きる子どもの育成

<学校教育方針>

学びをつなぐ・未来につなげる

<大東中学校区教育テーマ>

学びとつながる、人とつながる、
心がつながる学校づくり

- ・課題を見付け、自ら学びに向かう子
- ・他者と積極的に関わり合い、得た気付きを学びに生かせる子
- ・自分や周りの人を大切にできる子

児童の実態

- ・明るく素直で元気
- ・真面目に活動する
- ・仲良く面倒見がよい
- ・読解力が不十分
- ・生活体験が少ない

保護者・地域の願い

- ・挨拶ができる子
- ・夢をもつ子
- ・思いやりのある子
- ・地域を愛する子

<重点目標・具体的な取り組み・数値目標>

わかる授業づくり

- ◎「わかる」が実感できる授業づくり
- ともに学ぶ楽しさが実感できる授業づくり
- ユニバーサルデザインの視点による授業づくり
- 基礎基本の確かな定着

- 話し合う、伝え合う、協力し合う場面の設定
- 間違いや分からないことを受容し、お互いを認め合う関係づくり
- 学習や行動のルールの共有と定着

達成率90%以上

- ・授業がわかると答える児童
- ・話し合ったり、考え合ったり、授業が楽しいと答える児童
- ・効果的に、タブレットを活用した活動を行っている」と答える教員

豊かな心づくり

- ◎さわやかで元気な挨拶の推進
- つながりを大切にしたい温かい集団づくり
- 道徳教育の充実と実践の場の確保

- 家庭・地域が一体となり挨拶運動を推進
- 思いやりや感謝の心を育む主体的な集会活動や縦割り活動の工夫
- QUや心のチェックカードの活用、専門機関等との連携などによるいじめ・不登校などの早期発見・事案の対処
- よりよい自分の在り方と他者を思いやりながら考え議論する道徳の時間を工夫

達成率90%以上

- ・児童は進んであいさつができると答える保護者
- ・学校へ通うのが楽しいと答える児童
- ・道徳で考えが深まったと答える児童

健やかな体づくり

- ◎体力・持久力の向上
- 基本的な生活習慣の定着
- 心身共に健康な体づくり

- 大休みに持久走をする「元気タイム」と屋内での「なわとびタイム」による、体力・持久力の向上
- 「早寝・早起き・朝ごはん」を推進し、よりよい生活習慣の定着
- 感染症から身を守るための健康指導による自己管理能力の向上

達成率90%以上

- ・「元気タイム」と「なわとびタイム」で自分の目標を達成した児童
- ・「早寝・早起き・朝ごはん」が定着していると答える保護者
- ・自分の健康に気をつけていると答える児童

信頼される学校づくり

- ◎園小中、保護者、地域や各種団体との連携の推進
- 教育活動の積極的な情報発信
- 体験活動を重視した地域に開かれた安心・安全な学校

- 児童の地域行事への参加を推進し、学校田・畑、スキー教室など、保護者、ボランティアとの連携強化
- HPや学校便りなどで教育活動の様子を発信
- スムーズな接続のため、園小中連携を深め交流活動の推進
- 安全な学校環境の維持や危機管理意識の向上に努める
- 学校と家庭の連携・協力によるスマートルールの定着

達成率90%以上

- ・学校は地域と連携していると答える保護者
- ・学校は適切に情報発信をしていると答える保護者
- ・児童はスマートルールを守っていると答える保護者

業務改善の取り組み

- ・会議終了時間の遵守とペーパーレス化の推進
- ・タブレットと校内LANを活用した業務軽減
- ・ノー残業デーの徹底
- ・校務+αによる共助体制
- ・学校運営支援員や大学生、ボランティアなどの積極的な活用